

ゆめ ゆらゆ 夢 立

菅波 茂

2016年3月9日か

ら3日間、フィリピン首

都のマニラ郊外にあるD

AP（フィリピン開発ア

カデミー）の研修センタ

ーで第1回GPSP（世

界平和パートナーシッ

プ）世話人会議（英語名

では「カウンセシル」とな

った）が開かれた。GP

SPの目的は、「オーブ

ン相互扶助」を世界平和

に向けて啓蒙普及する社

会運動との大前提のも

と、平和構築▽生活支援

▽教育支援▽健康増進

の4分野についての活

動方針が熱心に討議され

た。

フィリピン側の参加者

はDAP上級副学長であ

るメルカド氏の貴重な人

脈を総動員した、そうそ

うたる多彩なメンバーだ

った。大学学長経験者や、

軍と警察の高官、国会議

員、自治体組長、NGO

理事長、医師、小規模融

資金機関経験者、DA

Pスタッフら。創設者と

しての私と、実務者とし

てのメルカド氏が共同理

事長に承認された。GP

SPカウンセシルは3年ご

とに任期更新制で、再任

可。定例会議は年に2回

ある。GPSPの事務所

はクアランプールに、事

務局機能はマニラのDA

P内に設置され、16年は

アジア規模で準備を進

め、17年から正式に稼働

する予定だ。14年11月に

AMD A設立30周年祝賀

会で発表されたGPSP

構想が、いよいよ具現化

する時が来た。

平和構築の分野で19

98年にAMD Aが経験

した、すべてのアフガニ

スタンの子どもたちにワ

クチン接種を終了するま

第1回GPSP世話人会議inフィリピン



第1回GPSP世話人会議の参加メンバー。メルカド氏（後列左から6人目）や筆者（同右から5人目）

で、戦闘行為を中止するを推進することで、北部「ワクチン停戦」のため同盟には、大地震に襲われ、アフガニスタンからタリバン公共福祉大臣アッバス氏と、北部同盟から外務副大臣アブドゥラ氏を岡山に招へいしたプログラムを紹介した。タリバン政権には、パキスタンにいてる200万人の

イスラム教徒地区の医療整備による信頼形成を」平和構築と健康増進分野だけでなく、宗教者との連携も不可欠」インドネシア元副大統領の力ラ氏がミンダナオ島和平に多大の関心を持っていて」といった意見が出た。SPの役割の具現化として楽しみである。

健康増進分野では、災害医療拠点のみならず、日常的な情報や技術の交流も行おう友好病院ネットワークを拡充すること。貧困地域における健康増進のためのプライマリヘルスケアと巡回診療や、先端医療技術の移転などが方針となった。日本が誇る内視鏡腹腔技術に高い要望があり、心疾患カテーテル手術にも期待が集まる。生活支援分野では、貧困対策としての小規模融資は各国で既に実績があり、有機農業

にも将来性がある。教育分野では、GPSPキッズへの教育機会の提供や意欲と能力のある子どもたちへの奨学金設立に加え、日本人には思いもつけないようなダイナミックな構想が披露された。心配無用、必ず実現させるとのことだった。94年からの岡山における社会運動で「西のジュネーブ、東の岡山」を掲げ、世界平和に向けて人権と相互扶助の連携に努めてきた。「開かれた相互扶助」を命題とするGPSPネットワークは「西のジュネーブ」に対する「東の岡山」の切り札となるのではないかと。GPSPの健康増進分野と「岡山・日本から世界に医療発信」を掲げる仮称「国際医療貢献プラットフォーム」との協力関係の構築にも意義がある。関係者の方々の一層のご理解とご支援をいただければ望外の喜びである。